






日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者

注：役職名は当時

		第 8 回		
開催月日	2016/12/3			
開催場所	早稲田大学(小野記念講堂)			
統一テーマ	海洋立国日本の将来 —第3期海洋基本計画の策定に向けて—			
基調講演	わが国 海洋政策の 展望と課題	小野寺	衆議院議員	
	新たな海洋立国と第3 期海洋基本計画の課 題	寺島	日本海洋政策 学会副会長	
研究発表	SIMSEAの科学的基 礎の確立に向けた戦 略的取り組み	森岡	海洋研究開発 機構	
	Oceanographic Information as a Co- Benefit of Marine Renewable Energy Projects	Kularat hna	東京大学大学 院	
	市場メカニズムを通じ た環境・資源保全措 置と世界貿易機関 (WTO)の下での規律	村上	笹川平和財団 海洋政策研究 所	

日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者

				
	南シナ海仲裁判断の意義とその海洋政策的示唆	武藤	三菱総合研究所	
	海底鉱物資源開発に伴う「海洋環境の汚染」に対する沿岸国の執行措置に関する一考察	下山	海上保安大学校	
	生物多様性に配慮した持続可能な資源調査・開発活動のための国際標準になりうる海洋環境影響評価に関する提案	柴田	横浜国立大学	
	海洋資源開発における社会経済影響の課題の検討	川辺	東京海洋大学	
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>注)掲載の都合上、各テーマの副題は省略しております</p> </div>				
パネルディスカッション	テーマ	「海のフロンティアを拓く ―日本型海域管理の将来像―」		
	モデレータ	柴山	早稲田大学教授	
	パネリスト	岡本	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	
		加々美	中部大学	

日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者

		兼原	上智大学	
ポスターセッション	<p>①洋上風力発電事業と地域の共発展寄附講座の研究活動 永井紀彦(名古屋大学大学院客員教授)</p> <p>②ドイツにおける洋上風力基地港湾整備の現状 竹内彩乃(東邦大学講師)</p> <p>③課題研究「海洋・宇宙の産学官連携方策に関する研究—海洋の総合管理にむけて(中間発表) 課題研究グループ</p> <p>④海洋教育における“海のプロフェッショナル体験”の有効性 林未来((公財)B&G財団係長)</p> <p>⑤職業体験前後における連想ネットワークの活用可能性 杉野弘明(東京大学特任研究員)</p> <p>⑥小・中学生を対象とする海洋リテラシー調査から考える海洋教育の課題 丹羽淑博(東京大学特任教授)</p> <p>⑦課題研究「新旧海洋基本計画および各年次報告に関する研究」中間報告 課題研究グループ</p> <p>⑧わが国の「海水浴場」と「ライフセーバー」に関する法的考察 小山隆彦(特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会会員)</p> <p>⑨沿岸域の総合管理の可能性についての一考察—沖縄県読谷村の事例から、地域の協働による総合的管理の可能性を探る— 加藤美奈子(放送大学大学院)</p>			 